

表8 低栄養状態のおそれの理由となる栄養面や食生活上の問題

栄養面や食生活上の問題からの低栄養状態のおそれがあると思いますか	要介護度						合計		
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4		要介護5	不明
なし	8 (34.8%)	19 (35.2%)	51 (37.2%)	34 (25.2%)	42 (36.5%)	24 (46.2%)	36 (73.5%)	1 (25.0%)	215 (37.8%)
あり	15 (65.2%)	35 (64.8%)	85 (62.0%)	100 (74.1%)	73 (63.5%)	28 (53.8%)	13 (26.5%)	3 (75.0%)	352 (61.9%)
未記入	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.4%)
合計	23 (100.0%)	54 (100.0%)	137 (100.0%)	135 (100.0%)	115 (100.0%)	52 (100.0%)	49 (100.0%)	4 (100.0%)	569 (100.0%)
低栄養状態のおそれの理由									
1.疾患(脳梗塞・消化器・呼吸器・腎臓疾患など)	4 (17.4%)	17 (31.5%)	34 (24.8%)	33 (24.4%)	27 (23.5%)	21 (40.4%)	27 (55.1%)	1 (25.0%)	164 (28.8%)
2.身体状況(発熱、風邪など)	2 (8.7%)	10 (18.5%)	23 (16.8%)	12 (8.9%)	14 (12.2%)	10 (19.2%)	13 (26.5%)	0 (0.0%)	84 (14.8%)
3.ラフィパイメントによる精神的ストレスなど	3 (13.0%)	4 (7.4%)	7 (5.1%)	6 (4.4%)	5 (4.3%)	2 (3.8%)	1 (2.0%)	1 (25.0%)	29 (5.1%)
4.閉じこもり	4 (17.4%)	13 (24.1%)	25 (18.2%)	16 (11.9%)	16 (13.9%)	7 (13.5%)	4 (8.2%)	1 (25.0%)	86 (15.1%)
5.認知症	3 (13.0%)	3 (5.6%)	34 (24.8%)	30 (22.2%)	40 (34.8%)	20 (38.5%)	20 (40.8%)	0 (0.0%)	150 (26.4%)
6.手術・退院直後の低栄養状態	1 (4.3%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)	3 (5.8%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	8 (1.4%)
7.口腔及び摂食・嚥下機能の問題	1 (4.3%)	6 (11.1%)	4 (2.9%)	8 (5.9%)	9 (7.8%)	16 (30.8%)	19 (38.8%)	1 (25.0%)	64 (11.2%)
8.生活機能低下(買い物、食事づくりが困難などの状態)	9 (39.1%)	14 (25.9%)	42 (30.7%)	33 (24.4%)	24 (20.9%)	7 (13.5%)	3 (6.1%)	0 (0.0%)	132 (23.2%)
9.うつ	2 (8.7%)	7 (13.0%)	16 (11.7%)	10 (7.4%)	10 (8.7%)	4 (7.7%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	50 (8.8%)
10.その他	4 (17.4%)	2 (3.7%)	7 (5.1%)	15 (11.1%)	9 (7.8%)	7 (13.5%)	4 (8.2%)	0 (0.0%)	48 (8.4%)
合計	17 (73.9%)	37 (68.5%)	90 (65.7%)	83 (61.5%)	79 (68.7%)	39 (75.0%)	42 (85.7%)	1 (25.0%)	388 (68.2%)

VI-D. 考察

調査票の回収数を高めるために、介護支援専門員協会の会員メールを通じて再度の依頼を行ったが回収数は増大しなかった。協力の得られた介護支援専門員は栄養・食事課題の分析や栄養ケア関連サービスへの理解や関心の高い者と考えられ、このような介護支援専門員による利用者の低栄養状態の把握率は、通常よりも高まると考えられる。

一方、データ化された利用者の要介護度別の性別、疾患、サービス利用などの特性は厚生労働省の介護実態調査の結果にほぼ相当していた。また、利用者の殆どが、経腸・静脈栄養法による栄養補給を行う者ではなく、「口から食べている」者であったことは、管理栄養士による栄養ケア・マネジメントの対応の対象となる者であった。

これらの利用者において、BMI18.5未満の者2割程度、過去6ヶ月間に概ね3%以上の体重減少があった者は1割程度であったが、これは、体重の7割近くが自己申告や医師の意見書から把握され、測定値に依る把握が15%程度しか実施されていないこと、不明者が1割以上であったこと、また、国の介護予防事業の継続的評価研究事業において、予防給付栄養改善サービス利用者となった要支援者7,013名のうち、基本チェックリストにおける「6ヶ月間に2~3kgの体重減少」に該当した者は15.7%、「BMI18.5未満」に該当した者10.8%、その両方に該当した者5.1%、そのいずれかに該当した者31.6%であったことを考慮すると、本調査結果は、利用者のBMI18.5未満の者や体重減少のある者の実際の出現率よりもかなり低い割合で把握されていることが考えられる。

食事摂取量が不良な者は、全体で18.8%、

特に要介護4,5の者では3割近く把握されており、また、褥瘡も、全体の8%程度、要介護5の者の30.6%と高い割合となっていた。これらの低栄養状態を把握するための課題である食事摂取量の不良や褥瘡は、介護支援専門員が低栄養状態のおそれの把握事項として用いている者の多い項目でもあった。

さらに、介護支援専門員が低栄養状態のおそれがあるとされると思った者は、全体で37.8%、要介護3,4では約40%、要介護5では73.5%と極めて高い割合であった。要支援者、要介護度の1~3の者では、低栄養状態のおそれがあると思った原因が、生活機能の低下、閉じこもり、疾患などであり、これらの原因に対応した介護予防通所介護事業あるいは介護予防通所リハビリテーションにおける栄養改善サービスでの対応が求められていた。一方、要介護4,5の者における低栄養状態のおそれがあると思った原因には、認知症、口腔及び摂食・嚥下機能の低下、疾患がその理由として高頻度に挙げられており、口腔及び摂食・嚥下、認知症、褥瘡などに対応した管理栄養士による居宅療養管理指導の推進が求められていた(VII参照のこと)。

本研究成果から、介護支援専門員が担当する居宅サービス利用者において、低栄養状態にある者あるいはそのおそれのあると介護支援専門員が思っている者は高い割合で存在することが明らかになった。しかも、それらの利用者の殆どが口から食べることのできる者であることから、居宅サービスにおける栄養ケア・マネジメントの推進は、今後の介護保険制度における栄養ケア・マネジメントの重要な課題である。一方、介護支援専門員の低栄養状態にある者あるいはそのおそれのある者を把握するための基準の明確化、栄養ケア・マネジメン

トへの理解を深めるため研修や管理栄養士とのパートナーシップの形成等が今後求められる。

なお、本研究結果に対応して、平成21年度の介護保険制度改正では、要支援者及び要介護者における低栄養状態の把握基準の明確化が行われた。また、平成20年度厚生労働省老人保健健康増進事業「介護予防における「栄養改善」の推進に関する総合的研究」では、介護支援専門員対象にした介護予防栄養改善サービス(栄養改善加算)に関するDVDやeラーニングなどの情報媒体の作成が行われたので、それぞれの報告書を参照されたい。

VI-E. 結論

日本介護支援専門員協会会員名簿に登録された指定居宅介護支援事業所の所属居宅介護支援専門員(以下、介護支援専門員)から都道府県高齢者人口比率で無作為抽出された800名のうち協力同意の得られた77名及び介護支援専門員が平成20年2月に契約している利用者のうちインフォームド・コンセントによって協力同意の得られた利用者569名の回答全てを有効回答として、データベース化し、以下の結果を得た。

- 1) 利用者の約98%が、口から食べている者であり、管理栄養士による栄養ケア・マネジメントの対象者であった。
- 2) 介護支援専門員による低栄養状態の把握基準としての体重は約65%が自己申告や医師の意見書から把握され、測定値に依るは15%程度、不明者が10%以上であった。
- 3) 低栄養状態のリスク者は、BMI18.5未満の者が22.7%、過去6ヶ月間に概ね3%以上の体重減少があった者が11.2%で

あった。また、食事摂取量が不良な者は18.8%であったが、要介護4、5の者では25%以上で把握され、褥瘡も、全体では7.8%程度であったが、要介護5の者では30.6%と高い割合であった。

- 4) 介護支援専門員によって低栄養状態のおそれがあると思われた者は、全体で37.8%、特に要介護3、4では約40%、要介護5では73.5%と高い割合でみられ、要支援者、要介護度の1~3の者では、生活機能の低下、閉じこもり、疾患などを理由としており、これらの原因に対する通所での栄養ケア・マネジメントが求められているのに対して、要介護4、5では、認知症、口腔及び摂食・嚥下機能の低下、疾患がその理由として高頻度であったことから、管理栄養士による居宅療養管理指導による対応が求められた。

以上の結果から、介護支援専門員による低栄養状態の把握を推進できるように把握基準の明確化、低栄養状態のリスク者に対する口腔及び摂食・嚥下、認知症、褥瘡などに対応するための地域栄養ケア・マネジメント体制づくりが介護支援専門員と管理栄養士とが連携して総合的に推進されることが必要であった。

VI-F 研究発表

なし

VI-G 知的財産権の出願・登録状況

特許取得、実用新案登録、その他なし

VI-H 参考文献

杉山みち子、遠又靖丈.IV.栄養改善.厚生

労働省老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進事業)「介護予防事業等の効果に関する総合的評価・分析に関する研究(継続的評価分析支援事業)」(主任研究者 辻一郎,2008).p53-62.

Ⅶ. 通所サービス事業所における栄養ケア・マネジメントの実施状況

Ⅶ-A 目的

介護保険制度の見直しによって、平成 18 年 4 月に予防給付ならびに介護給付の居宅サービス利用高齢者に対する栄養ケア・マネジメントの体制が導入された。しかしながら、これらの通所サービスにおける栄養ケア・マネジメント関連の栄養改善加算(予防給付)及び栄養マネジメント加算(介護給付)の取得率は1%を下回り、居宅サービス利用者への低栄養改善のための栄養ケア・マネジメントは殆ど実施されていない。

そこで、本研究は通所サービス事業所における栄養ケア・マネジメントの実施に関する問題を全国規模の実態調査によって明らかにするための協力事業所を募るための予備調査として、栄養ケア・マネジメント関連加算の請求状況、管理栄養士・栄養士の配置状況、加算に結び付かないアセスメントや相談などの実施状況を調査した。

Ⅶ-B 方法

1. 対象施設

2007年9月30現在の「WAMNET 介護サービス事業者情報」において、指定を受けている全国の通所サービス事業所(通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所)、29,318事業所から定員数5名未満を除外した全28,509事業所を対象とした。抽出する事業所数は、対象の5%の回収数を確保できるように、回収率を30%と見込み、5,669事業所とした。抽出方法は、通所サービス事業所の区分、都道府県別に層化無作為抽出を行った。

なお、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所と同様に、栄養マネジメント加算、

栄養改善加算が請求できる通所サービスとして、地域密着型サービスの認知症対応型通所介護および介護予防認知症対応型通所介護が挙げられるが、これらのサービス事業所に送付は行わず、アンケートにおいてこれらの事業所に対し設問した。

2. 調査方法

事業所IDを付与したアンケート用紙(別添資料参照)を用いた郵送調査法とした。アンケート用紙は、事業所責任者宛に送付し、事業所責任者、責任者が指定した者、あるいは管理栄養士が配置されている場合には、管理栄養士が回答した。平成19年10月末に対象事業所にアンケート用紙を郵送し、回収は返信用封筒により平成19年11月末に行った。

3. データの管理及び倫理的配慮

本研究は、個別の利用者や職員に介入するものではなく、介護保険制度における栄養ケア・マネジメント体制に対する事業所評価として行った。

研究に関わる調査票は、事務局が交付した事業所のID番号によって匿名化し、事業所の自由意思によって回答するものであった。対照表及び回収されたアンケート用紙は、研究事務局によって5年間厳重に保存され、その後粉砕処分される。施設利用者、職員の個人情報には抵触することなく、また、利用者には何ら通常業務以外介入が行われることはなかった。本調査は神奈川県立保健福祉大学倫理委員会の承認(承認番号:19-010)を得て実施した。

Ⅶ-C. 結果

1. 回収状況及び回答者

1) 回収状況

回収状況を表1に示した。送付数合計5,669事業所に対する回収数は1,948事業所であり、回収率34.4%であった。

なお事業所の種類は、表1の下段1)~5)の定義に基づき、『通所介護』、『通所リハ』、『認知症対応型』、『その他』、『不明』の5つに区分した。各区分指定通所サービスの内容については表2に示す。1,948事業所の内訳は、『通所介護』1,417(72.8%)、『通所リハ』429(22.0%)、『認知症対応型』16(0.8%)、『その他』51(2.6%)、『不明』35(1.8%)であった。

なお全国の母集団となる『通所介護』22,242に対して6.4%、『通所リハ』6,267に対して6.9%にあたる回収数を得ることができた。

2) 回答職種

調査票に回答した職種を表3に示した。

回答が最も多いのは「その他の職種」であり、『全事業所』では70.4%、『通所介護』77.5%、『通所リハ』52.7%、『認知症対応型』93.7%、『その他』37.3%であり、それ以外が不明を除外すれば管理栄養士(常勤、非常勤、専任、併任を含む)によるものであった。

2. 平成19年10月の通所サービス事業所の運営状況

1) 稼働日数

通所サービス事業所の1カ月間の稼働日数(平均±標準偏差)は『全事業所』で26.1±6.1日であった。事業所別には『通所介護』26.3±6.7日、『通所リハ』25.2±3.5日、『認知症対応

型』25.9±3.3日、『その他』27.2±6.2日と25~27日となっていた。

2) 定員数

定員数(平均±標準偏差)は、『全事業所』では28.9±15.5人であり、複合的サービスを行っている『その他』48.5±30.5人が最も多いが、それ以外では、『通所介護』26.6±12.6人、『通所リハ』34.7±18.2人、『認知症対応型』14.8±8.1人であった。

3) 利用者延べ人数

利用者延べ人数(平均±標準偏差)は、『全事業所』では497.1±329.1人、『通所介護』472.4±289.0人、『通所リハ』551.3±377.8人、『認知症対応型』232.7±169.0、『その他』815.1±616.6人人の順に高くなっていた。

3. 通所サービス事業所における管理栄養士、栄養士の配置と兼務先の状況

1) 通所サービス事業所における管理栄養士、栄養士の配置

管理栄養士、栄養士の配置人数を表5-1と表5-2に示した。管理栄養士・栄養士の配置された事業所での平均配置数を表6に、勤務形態別の管理栄養士、栄養士の配置数を表7-1~表7-8に示した。

表5-1に示したように管理栄養士の配置人数は、0人が1,871事業所中55.8%と最も多く、次いで1人が40.0%と多かった。管理栄養士が2人以上配置されている事業所は5%未満であった。なお、管理栄養士が配置された事業所での平均配置数(平均±標準偏差)は表6に示したように、管理栄養士の勤務形態としては兼務常勤が最も多く0.9±0.6人であり、事業所種類別には、『通所介護』0.8±0.5人、『通所リ

ハ』 0.9 ± 0.7 人、『認知症対応型』 1.0 ± 0.0 人、『その他』 1.1 ± 0.8 人、であった。また表 7-1～表 7-4 に示したように、平均配置数が最も多かった兼務常勤は、配置人数「1人」が『全事業所』で 32.2%であった。また、事業所の種類別には『通所介護』25.8%、『通所リハ』51.8%、『認知症対応型』13.3%、『その他』49.0%であった。

一方、栄養士の配置人数は、0 人が 1,871 事業所中 76.9%で、次いで 1 人が 20.0%と多かった。2 人以上管理栄養士『通所リハ』 1.0 ± 1.3 人、『認知症対応型』 1.0 ± 0.0 人が配置されている事業所は 5%未満であった。なお、表 6 に示したように、栄養士の勤務形態としては兼務常勤が最も多く、 0.7 ± 0.9 人となっていた。事業所の種類としては、『通所介護』 0.6 ± 0.6 、『通所リハ』 1.0 ± 1.3 人、『認知症対応型』 1.0 ± 0.0 人、『その他』 1.0 ± 1.3 人であった。また表 7-5～表 7-8 に示したように、平均配置数が最も多かった栄養士の兼務常勤は、10.6%であった。また、事業所の種類としては、『通所介護』11.2%、『通所リハ』9.0%、『認知症対応型』7%、『その他』12.2%であった。

2) 管理栄養士、栄養士の兼務先の状況

(1) 施設の種類の状況

管理栄養士、栄養士の兼務施設の種類の状況を表 8-1 に示した。老人福祉施設に兼務しているのは、『通所介護』67.0%、『認知症対応型』75.0%であり、老人保健施設に兼務しているのは、『通所リハ』65.7%、『その他』41.7%であった。医療施設に兼務しているのは、『通所リハ』32.7%、『その他』33.3%であった。

(2) 兼務先での栄養ケア・マネジメントの実施状況

管理栄養士、栄養士の兼務施設での栄養ケア・マネジメント実施状況を表 8-2 に示した。

兼務施設先で栄養ケア・マネジメントを実施していたのは、約 5 割であった。事業所の種類としては『通所介護』38.1%、『通所リハ』68.3%、『その他』57.1%であった。

4. 通所サービス事業所における栄養・食事に関するアセスメント・相談等の状況

通所サービス事業所における栄養・食事に関するアセスメント・相談等の状況について表 9-1 に示した。

「何らかの方法(体重測定、食事摂取量の把握等)で利用者の栄養状態のアセスメントを行っている」と回答した事業所は、『全事業所』89.2%であった。事業所の種類としては、『通所介護』89.5%、『通所リハ』88.5%、『その他』85.7%、『認知症対応型』では全所であった。

「これまでに、地域包括支援センターあるいは介護支援専門員から利用者の栄養ケアについて依頼または相談を受けたことがある」と回答した事業所については、『全事業所』では 48.5%であり、『通所介護』47.6%、『通所リハ』49.4%、『認知症対応型』30.0%、『その他』66.7%であった。

「利用者の栄養ケアについて、地域包括支援センターあるいは介護支援専門員に相談を持ちかけたことがある」と回答した事業所は、『全事業所』48.9%と約 5 割であった。事業所の種類としては、『通所介護』49.5%、『通所リハ』45.9%、『認知症対応型』60.0%、『その他』52.4%であった。

「利用者あるいはその家族から栄養ケアについて依頼または相談を受けたことがある」と回答した事業所は、『全事業所』50.5%と約 5 割であった。事業所の種類としては、『通所介護』48.8%、『通所リハ』54.7%、『認知症対応型』40.0%、『その他』64.3%、であった。

そこで、上記の4つの設問で回答者が管理栄養士の場合を表9-2に示した。

「何らかの方法(体重測定、食事摂取量の把握等)で利用者の栄養状態のアセスメントを行っている」と回答した事業所は、『全事業所』82.7%と約8割にのぼっていた。事業所の種類としては、『通所リハ』86.1%、『通所介護』78.9%、『認知症対応型』0%、『その他』29.0%であった。

「これまでに、地域包括支援センターあるいは介護支援専門員から利用者の栄養ケアについて依頼または相談を受けたことがある」と回答した事業所は、『全事業所』58.4%と約6割であった。事業所の種類としては、『通所介護』56.6%、『通所リハ』57.6%、『認知症対応型』0.0%、『その他』80.0%であった。

「利用者の栄養ケアについて、地域包括支援センターあるいは介護支援専門員に相談を持ちかけたことがある」と回答した事業所は、『全事業所』40.2%と約4割であった。事業所の種類としては、『その他』50.0%、『通所介護』37.7%、『通所リハ』41.8%、『認知症対応型』0.0%、『その他』50.0%であった。

「利用者あるいはその家族から栄養ケアについて依頼または相談を受けたことがある」と回答した事業所は、『全事業所』と約5割であった。事業所の種類としては、『その他』65.0%、『通所リハ』60.1%、『通所介護』44.6%、『認知症対応型』0.0%であった。

次に、「アセスメントの結果、利用者の栄養状態に問題があった場合、何らかの対策をとっているか」という設問に対する回答状況を表10-1に示した。『全事業所』でみると「対策をとっている」と回答したのは『全事業所』1,792事業所中55.5%、「対策をとっていない」と回答したのは23.8%、「問題があったことがない」と回

答したのは20.7%であった。また、表10-2に示したように、回答者が管理栄養士の場合では、『全事業所』でみると「対策をとっている」と回答したのは『全事業所』では54.1%、「対策をとっていない」と回答したのは34.6%、「問題があったことがない」と回答したのは11.3%であった。

5. 通所サービス事業所における栄養改善加算、栄養マネジメント加算の届出及び請求の状況

平成19年10月の栄養改善加算、栄養マネジメント加算の届出状況について表11-1と表11-2に示した。栄養改善加算届出を行っていたのは、『全事業所』17.9%と約2割であった。事業所の種類としては、『通所リハ』40.1%、『その他』28.3%、『通所介護』11.1%の順に多かった。栄養マネジメント加算届出を行っていたのは、『全事業所』21.3%と約2割であった。事業所の種類としては、『通所リハ』392事業所中46.7%、『その他』47事業所中36.2%、『通所介護』13.3%、『認知症対応型』0%の順に多かった。

平成18年4月～平成19年10月の栄養改善加算、栄養マネジメント加算の請求数(平均±標準偏差)について表12に示した。栄養改善加算は、『全事業所』 29.6 ± 178.5 件であった。事業所の種類としては、『通所介護』 40.1 ± 239.9 件、『その他』 37.9 ± 56.2 件、『通所リハ』 19.0 ± 101.0 件の順に多かった。また、栄養マネジメント加算は、『全事業所』 2.9 ± 10.1 件であった。事業所の種類としては、『通所介護』 3.8 ± 12.7 件、『通所リハ』 2.2 ± 7.4 件、『その他』 1.5 ± 2.2 件の順に多かった。

平成18年4月～平成19年10月の栄養改善加算、栄養マネジメント加算の請求状況について、表13-1と表13-2に示した。栄養改善

加算は、請求数なし(0件)が『全事業所』77.6%と約8割であり、次いで請求数1~5件が多く、12.7%と約1割であった。栄養マネジメント加算も、請求数なし(0件)が『全事業所』66.3%と約7割であり、次いで請求数1~5件が多く、14.6%となっていた。また栄養マネジメント加算は21件以上を取得している事業所が『全事業所』の12.2%と約1割であった。事業所の種類としては、『その他』37.5%、『通所介護』12.9%、『通所リハ』9.3%の順に多かった。

VII-D 考察

1,948事業所からアンケートが回収され、全国指定事業所の5%以上の回収数を得ることができたといえる。本調査のアンケートへの回答者は「管理栄養士以外の職種」が『全事業所』で70.4%であり、本調査で得られた回答は、特に栄養ケア・マネジメントに関心があるものによる回答であることも考えられるが、管理栄養士が配置されていないか、主体的に関わっていない事業所からの回答も多く得ることができたといえる。「管理栄養士」は『全事業所』では24.0%であり、管理栄養士の配置状況と応じて、『その他』50.9%、『通所リハ』44.3%の順に多かった。

管理栄養士の合計配置人数は、0人が最も多く、『全事業所』では1,871事業所中55.9%であり、次いで1人が40.0%であった。また管理栄養士の勤務形態としては兼務常勤が最も多く、約3割の通所サービス事業所に配置されていた。兼務先としては、『通所介護』では老人福祉施設67.0%、『通所リハ』では老人保健施設65.7%、医療施設32.7%であり、兼務施設先で栄養ケア・マネジメントを実施してされていたのは46.6%と約5割にのぼっていた。また兼務

常勤次いで専従常勤での配置が多く、『全事業所』では5.1%であり、中でも『通所リハ』は12.3%と約1割の事業所で配置されていた。

栄養改善加算の届出は、『全事業所』17.9%、栄養マネジメント加算は『全事業所』21.3%であり、約2割の事業所は栄養改善加算や栄養マネジメント加算の届出を行っていた。事業所の種類としては、特に『通所リハ』が46.7%と他に比べて多かった。栄養改善、栄養マネジメント加算ともに、「請求数なし(0件)」が『全事業所』では夫々約8割、7割であった。また、加算を取得している場合にも、「請求数1~5件」が多くなっていた。栄養マネジメント加算は「21件以上」が約1割であった。特に、『その他』は37.5%と多くなっており、このような事業所については今後の調査においても検討すべきであると考えられる。

平均の請求数については、栄養改善加算は『全事業所』で2.9±10.1件であった。栄養マネジメント加算は『全事業所』で29.6±178.5件であり、中でも『通所介護』が40.1±239.9件が最も多かったが、標準偏差からバラつきも極めて大きいといえる。また、少数の事業所が100件を超える栄養マネジメント加算の請求をしていることがわかった。

一方、通所サービス事業所における栄養・食事に関するアセスメント・相談等の状況は、『全事業所』では、「利用者の栄養ケアについて、地域包括支援センターあるいは介護支援専門員に相談を持ちかけたことがある」約4割、「利用者あるいはその家族から栄養ケアについて依頼または相談を受けたことがある」約5割と、栄養ケアの必要性を感じている事業所が多く、また「何らかの方法(体重測定、食事摂取量の把握等)で利用者の栄養状態のアセスメントを行っている」約8割、「アセスメントの

結果、利用者の栄養状態に問題があった場合、何らかの対策をとっている」約6割であり、栄養・食事に関する栄養ケア・マネジメント業務の一環である業務は、加算取得が行われていない場合が多く、通所サービス事業所で日常業務の一環として実施されていることが明らかとなった。

通所サービス事業所全体では、約4割に管理栄養士(多くは施設等と兼務している常勤管理栄養士)がおり、通所サービスでの栄養改善加算や栄養マネジメント加算に関連する業務を実際に行っている状況にも関わらず、栄養改善加算ならびに栄養マネジメント加算の請求は9割以上の事業所でなされていない、という状況にあると考えられる。

今後、通所サービスでの地域高齢者のための栄養ケア・マネジメント実施の障害となっている課題を詳細に明らかすると同時に、具体的な取り組みの実態や効果的な栄養ケア・マネジメントの運営のあり方に関して検討する必要がある。

VII-E. 結論

通所サービス事業所における栄養ケア・マネジメントの推進のための要件を、次年度の本研究によって明らかにするための予備調査を行った。栄養ケア・マネジメント関連加算の請求状況、管理栄養士・栄養士の配置状況、加算に結び付かないアセスメントや相談などの実施状況について調査した。全国指定通所サービス事業所28,509の5%の回収数の確保をみこみ5,669事業所を事業所区分、都道府県別に層化無作為抽出を行い、郵送による簡便なアンケート調査を行い以下の結果を得た。

1) 栄養改善加算、栄養マネジメント加算の届出は約2割、栄養改善加算は、「請求数な

し」が約8割で最も多く、「請求数1～5件」が約1割であった。栄養マネジメント加算も、「請求数なし」が約7割、「請求数1～5件」が約1割であった。

- 2) 管理栄養士の合計配置人数は、0人が1,871事業所中55.9%であり、次いで1人が40.0%で多かった。また、約3割の事業所では、施設等の兼務常勤であった。
- 3) 通所サービス事業所で業務を担当している管理栄養士の兼務先としては、『通所介護』では老人福祉施設67.0%、『通所リハ』では老人保健施設65.7%、医療施設32.7%であり、兼務施設での栄養ケア・マネジメントを実施していたのは46.6%であった。
- 4) 通所サービス事業所における栄養・食事に関するアセスメント・相談等について、管理栄養士が「何らかの方法(体重測定、食事摂取量の把握等)で利用者の栄養状態のアセスメントを行っている」と回答した者は82.7%、「これまでに、地域包括支援センターあるいは介護支援専門員から利用者の栄養ケアについて依頼または相談を受けたことがある」と回答した者は58.4%、「利用者の栄養ケアについて、地域包括支援センターあるいは介護支援専門員に相談を持ちかけたことがある」と回答した者は40.2%、「利用者あるいはその家族から栄養ケアについて依頼または相談を受けたことがある」と回答した者は52.7%であった。また、「アセスメントの結果、利用者の栄養状態に問題があった場合、何らかの対策をとっている」と回答した者は55.5%であった。このように栄養改善加算や栄養マネジメント加算を取得していないものの、施設の管理栄養士が低栄養状態の把握や利用者・家族との相談、何らかの対策を行っ

ていることが明らかになった。

なお、本アンケート用紙の最後において、今後の調査研究への協力事業所を募っていることから、これらの事業所を対象に継続して調査研究を行い、栄養ケア・マネジメント体制導入のための改善すべき課題をさらに詳細に明らかとすることができる。これにより、地域高齢者についての低栄養状態の早期発見及び重度化予防に寄与することが期待される。

VII-F. 研究発表

なし

VII-G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

○参考文献

なし

表1：回収状況

	N	事業所数	
		送付数%	回収数%
WAMNET上の全国事業所数(2007年9月30時点) [※]			
合計	28,509		
通所介護	22,242		
通所リハビリテーション	6,267		
送付数			
合計	5,669	(100.0)	
通所介護	4,434	(78.2)	
通所リハビリテーション	1,235	(21.8)	
回収数			
全事業所(合計)	1,948	(34.4)	(100.0)
通所介護 ¹	1,417	(25.0)	(72.8)
通所リハ ²	429	(7.6)	(22.0)
認知症対応型 ³	16	(0.3)	(0.8)
その他 ⁴	51	(0.9)	(2.6)
不明 ⁵	35	(0.6)	(1.8)

※ 全事業所より定員数5名未満を除外した数

- 1) 通所介護 : 通所介護、介護予防通所介護。認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護を併設する事業所を含む。
- 2) 通所リハ : 通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション。
- 3) 認知症対応型 : 認知症対応型通所介護または介護予防認知症対応型通所介護のみの単独型の事業所
- 4) その他 : 上記以外のもの(通所介護、通所リハビリテーションまたは認知症対応型通所介護を複合的に行っている事業所)
- 5) 不明 : 詳細不明

表2: 指定通所サービスの状況

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
通所介護	1,413	(99.7)	—	—	—	—	43	(84.3)	1,456	(76.1)
通所リハビリテーション	—	—	426	(99.3)	—	—	49	(96.1)	475	(24.8)
認知症対応型通所介護	115	(8.1)	—	—	15	(93.8)	12	(23.5)	142	(7.4)
介護予防通所介護	1,074	(75.8)	—	—	—	—	36	(70.6)	1,110	(58.0)
介護予防通所リハビリテーション	—	—	311	(72.5)	—	—	43	(84.3)	354	(18.5)
介護予防認知症対応型通所介護	87	(6.1)	—	—	7	(43.8)	9	(17.6)	103	(5.4)
合計	1,417	(100.0)	429	(100.0)	16	(100.0)	51	(100.0)	1,913	(100.0)

複数回答

表3: 回答職種

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		不明		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
管理栄養士	243	(17.1)	190	(44.3)	1	(6.3)	26	(50.9)	8	(22.9)	468	(24.0)
その他の職種	1,097	(77.5)	226	(52.7)	15	(93.7)	19	(37.3)	13	(37.1)	1,370	(70.4)
職種不明	77	(5.4)	13	(3.0)	0	(0.0)	6	(11.8)	14	(40.0)	110	(5.6)
合計	1,417	(100.0)	429	(100.0)	16	(100.0)	51	(100.0)	35	(100.0)	1,948	(100.0)

表4: 平成19年10月の1カ月の通所サービスの運営状況 (平均[標準偏差])

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	mean(SD)	n	mean(SD)	n	mean(SD)	n	mean(SD)	n	mean(SD)
稼働日数 (日/月)	1,401	26.3(6.7)	425	25.2(3.5)	16	25.9(3.3)	50	27.2(6.2)	1,892	26.1(6.1)
定員 (人/月)	1,407	26.6(12.6)	427	34.7(18.2)	16	14.8(8.1)	50	48.5(30.5)	1,900	28.9(15.5)
利用者延べ人数 (人/月)	1,374	472.4(289.0)	417	551.3(377.8)	16	232.7(169.0)	49	815.1(616.6)	1,856	497.1(329.1)

表5-1: 管理栄養士合計配置人数

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
0人	915	(66.2)	107	(25.2)	13	(86.7)	10	(20.4)	1045	(55.8)
1人	448	(32.4)	267	(63.0)	2	(13.3)	31	(63.3)	748	(40.0)
2人	17	(1.2)	36	(8.5)	0	(0.0)	5	(10.2)	58	(3.1)
3人	3	(0.2)	9	(2.1)	0	(0.0)	3	(6.1)	15	(0.8)
4人	0	(0.0)	5	(1.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(0.3)
5人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
6人以上	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	1383	(100.0)	424	(100.0)	15	(100.0)	49	(100.0)	1871	(100.0)

表5-2: 栄養士合計配置人数

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
0人	1058	(76.5)	334	(78.8)	14	(93.3)	34	(69.5)	1440	(76.9)
1人	293	(21.2)	69	(16.3)	1	(6.7)	11	(22.4)	374	(20.0)
2人	23	(1.7)	12	(2.8)	0	(0.0)	3	(6.1)	38	(2.0)
3人	6	(0.4)	3	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	9	(0.5)
4人	3	(0.2)	3	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	6	(0.3)
5人	0	(0.0)	2	(0.5)	0	(0.0)	1	(2.0)	3	(0.2)
6人以上	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.1)
合計	1383	(100.0)	424	(100.0)	15	(100.0)	49	(100.0)	1871	(100.0)

表6: 通所サービス事業所の管理栄養士、栄養士の配置状況 (管理栄養士、栄養士の配置がある事業所での平均配置数:人)

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	mean(SD)	n	mean(SD)	n	mean(SD)	n	mean(SD)	n	mean(SD)
管理栄養士専従 常勤	468	0.1(0.3)	317	0.2(0.5)	2	0.0(0.0)	39	0.2(0.4)	826	0.1(0.4)
管理栄養士専従 非常勤	468	0.1(0.3)	317	0.0(0.2)	2	0.0(0.0)	39	0.0(0.0)	826	0.0(0.2)
管理栄養士兼務 常勤	468	0.8(0.5)	317	0.9(0.7)	2	1.0(0.0)	39	1.1(0.8)	826	0.9(0.6)
管理栄養士兼務 非常勤	468	0.1(0.3)	317	0.0(0.3)	2	0.0(0.0)	39	0.1(0.3)	826	0.1(0.3)
栄養士専従 常勤	325	0.3(0.5)	90	0.3(0.6)	1	0.0(0.0)	15	0.2(0.4)	431	0.3(0.5)
栄養士専従 非常勤	325	0.2(0.5)	90	0.1(0.3)	1	0.0(0.0)	15	0.0(0.0)	431	0.2(0.4)
栄養士兼務 常勤	325	0.6(0.6)	90	1.0(1.3)	1	1.0(0.0)	15	1.0(1.3)	431	0.7(0.9)
栄養士兼務 非常勤	325	0.1(0.3)	90	0.1(0.3)	1	0.0(0.0)	15	0.3(0.5)	431	0.1(0.3)

表7-1: 管理栄養士 専従 常勤の配置

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
0人	1345	(97.3)	364	(85.8)	15	(100.0)	43	(87.8)	1767	(94.4)
1人	37	(2.7)	52	(12.3)	0	(0.0)	6	(12.2)	95	(5.1)
2人	1	(0.1)	7	(1.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	8	(0.4)
3人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
4人	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.1)
5人以上	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	1383	(100.0)	424	(100.0)	15	(100.0)	49	(100.0)	1871	(100.0)

表7-2: 管理栄養士 専従 非常勤の配置

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
0人	1355	(98.0)	419	(98.9)	15	(100.0)	49	(100.0)	1838	(98.2)
1人	26	(1.9)	4	(0.9)	0	(0.0)	0	(0.0)	30	(1.6)
2人	2	(0.1)	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.2)
3人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
4人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
5人以上	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	1383	(100.0)	424	(100.0)	15	(100.0)	49	(100.0)	1871	(100.0)

表7-3: 管理栄養士 兼務 常勤の配置

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
0人	1012	(73.2)	172	(40.6)	13	(86.7)	18	(36.7)	1215	(65.0)
1人	357	(25.8)	220	(51.8)	2	(13.3)	24	(49.0)	603	(32.2)
2人	12	(0.9)	24	(5.7)	0	(0.0)	4	(8.2)	40	(2.1)
3人	2	(0.1)	5	(1.2)	0	(0.0)	3	(6.1)	10	(0.5)
4人	0	(0.0)	3	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.2)
5人以上	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	1383	(100.0)	424	(100.0)	15	(100.0)	49	(100.0)	1871	(100.0)

表7-4: 管理栄養士 兼務 非常勤の配置

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
0人	1348	(97.5)	412	(97.2)	15	(100.0)	46	(93.9)	1821	(97.3)
1人	35	(2.5)	9	(2.1)	0	(0.0)	3	(6.1)	47	(2.5)
2人	0	(0.0)	3	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.2)
3人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
4人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
5人以上	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	1383	(100.0)	424	(100.0)	15	(100.0)	49	(100.0)	1871	(100.0)

表7-5: 栄養士専従 常勤の配置

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
0人	1307	(94.5)	397	(93.6)	15	(100.0)	46	(93.9)	1765	(94.3)
1人	69	(5.0)	24	(5.7)	0	(0.0)	3	(6.1)	96	(5.1)
2人	3	(0.2)	2	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(0.3)
3人	4	(0.3)	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(0.3)
4人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
5人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
6人以上	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	1383	(100.0)	424	(100.0)	15	(100.0)	49	(100.0)	1871	(100.0)

表7-6: 栄養士専従 非常勤の配置

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
0人	1326	(95.9)	418	(98.6)	15	(100.0)	49	(100.0)	1808	(96.6)
1人	54	(3.9)	6	(1.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	60	(3.2)
2人	2	(0.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.1)
3人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
4人	1	(0.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.1)
5人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
6人以上	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	1383	(100.0)	424	(100.0)	15	(100.0)	49	(100.0)	1871	(100.0)

表7-7: 栄養士兼務 常勤の配置

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
0人	1215	(87.9)	370	(87.2)	14	(93.3)	40	(81.7)	1639	(87.5)
1人	155	(11.2)	38	(9.0)	1	(6.7)	6	(12.2)	200	(10.6)
2人	10	(0.7)	8	(1.9)	0	(0.0)	2	(4.1)	20	(1.1)
3人	2	(0.1)	3	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(0.3)
4人	1	(0.1)	2	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.2)
5人	0	(0.0)	2	(0.5)	0	(0.0)	1	(2.0)	3	(0.2)
6人以上	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.1)
合計	1383	(100.0)	424	(100.0)	15	(100.0)	49	(100.0)	1871	(100.0)

表7-8: 栄養士兼務 非常勤の配置

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
0人	1349	(97.5)	418	(98.6)	15	(100.0)	45	(91.8)	1827	(97.6)
1人	33	(2.4)	6	(1.4)	0	(0.0)	4	(8.2)	43	(2.3)
2人	1	(0.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.1)
3人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
4人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
5人	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
6人以上	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	1383	(100.0)	424	(100.0)	15	(100.0)	49	(100.0)	1871	(100.0)

表8-1: 管理栄養士、栄養士の兼務施設の種類の種類

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
介護老人福祉施設	364	(67.0)	4	(1.3)	3	(75.0)	4	(11.1)	375	(42.5)
介護老人保健施設	9	(1.7)	197	(65.7)	0	(0.0)	15	(41.7)	221	(25.0)
医療施設	27	(5.0)	98	(32.7)	0	(0.0)	12	(33.3)	137	(15.5)
その他	175	(32.2)	13	(4.3)	1	(25.0)	6	(16.7)	195	(22.1)
合計	543	(100.0)	300	(100.0)	4	(100.0)	36	(100.0)	883	(100.0)

複数回答

表8-2: 管理栄養士、栄養士の兼務施設先で栄養ケア・マネジメントを実施しているか

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
実施	333	(38.1)	228	(68.3)	1	(14.3)	24	(57.1)	586	(46.6)
未実施	542	(61.9)	106	(31.7)	6	(85.7)	18	(42.9)	672	(53.4)
合計	875	(100.0)	334	(100.0)	7	(100.0)	42	(100.0)	1,258	(100.0)

表9-1: 通所サービス事業所における栄養・食事に関するアセスメント・相談等の状況

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
アセスメント ¹⁾	981	(89.5)	301	(88.5)	10	(100.0)	36	(85.7)	1,328	(89.2)
依頼または相談 ²⁾	522	(47.6)	168	(49.4)	3	(30.0)	28	(66.7)	721	(48.5)
相談の持ちかけ ³⁾	543	(49.5)	156	(45.9)	6	(60.0)	22	(52.4)	727	(48.9)
利用者からの相談 ⁴⁾	535	(48.8)	186	(54.7)	4	(40.0)	27	(64.3)	752	(50.5)
合計	1,096	(100.0)	340	(100.0)	10	(100.0)	42	(100.0)	1,488	(100.0)

表9-2: (回答者: 管理栄養士)

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
アセスメント ¹⁾	138	(78.9)	136	(86.1)	0	(0.0)	18	(90.0)	292	(82.7)
依頼または相談 ²⁾	99	(56.6)	91	(57.6)	0	(0.0)	16	(80.0)	206	(58.4)
相談の持ちかけ ³⁾	66	(37.7)	66	(41.8)	0	(0.0)	10	(50.0)	142	(40.2)
利用者からの相談 ⁴⁾	78	(44.6)	95	(60.1)	0	(0.0)	13	(65.0)	186	(52.7)
合計	175	(100.0)	158	(100.0)	0	(0.0)	20	(100.0)	353	(100.0)

1) 貴事業所において、何らかの方法(体重測定、食事摂取量の把握等)で利用者の栄養状態のアセスメントを行っている。

2) これまでに、地域包括支援センターあるいは介護支援専門員から利用者の栄養ケアについて依頼または相談を受けたことがある。

3) 利用者の栄養ケアについて、地域包括支援センターあるいは介護支援専門員に相談を持ちかけたことがある。

4) 利用者あるいはその家族から栄養ケアについて依頼または相談を受けたことがある。

表10-1:アセスメントの結果、利用者の栄養状態に問題があった場合、何らかの対策をとっているか

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
いる	713	(53.8)	242	(60.2)	9	(56.2)	30	(61.2)	994	(55.5)
いない	307	(23.2)	101	(25.1)	4	(25.0)	15	(30.6)	427	(23.8)
問題があったことがない	305	(23.0)	59	(14.7)	3	(18.8)	4	(8.2)	371	(20.7)
合計	1,325	(100.0)	402	(100.0)	16	(100.0)	49	(100.0)	1,792	(100.0)

表10-2: (回答者:管理栄養士)

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
いる	105	(47.5)	112	(62.6)	0	(0.0)	13	(54.2)	230	(54.1)
いない	87	(39.4)	49	(27.4)	1	(100.0)	10	(41.7)	147	(34.6)
問題があったことがない	29	(13.1)	18	(10.1)	0	(0.0)	1	(4.2)	48	(11.3)
合計	221	(100.0)	179	(100.0)	1	(100.0)	24	(100.0)	425	(100.0)

表11-1: 平成19年10月の栄養改善加算の加算届出状況

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
あり	142	(11.1)	154	(40.1)	0	(0.0)	13	(28.3)	309	(17.9)
なし	1,143	(88.9)	230	(59.9)	15	(100.0)	33	(71.7)	1,421	(82.1)
合計	1,285	(100.0)	384	(100.0)	15	(100.0)	46	(100.0)	1,730	(100.0)

表11-2: 平成19年10月の栄養マネジメント加算の加算届出状況

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)	n	(%)
あり	172	(13.3)	183	(46.7)	0	(0.0)	17	(36.2)	372	(21.3)
なし	1,123	(86.7)	209	(53.3)	15	(100.0)	30	(63.8)	1,377	(78.7)
合計	1,295	(100.0)	392	(100.0)	15	(100.0)	47	(100.0)	1,749	(100.0)

表11: 平成18年4月～平成19年10月の栄養ケア・マネジメントに関する加算の請求状況
(加算届出を行っている事業所での平均加算請求数:件)

	通所介護		通所リハ		認知症対応型		その他		全事業所	
	n	mean(SD)	n	mean(SD)	n	mean(SD)	n	mean(SD)	n	mean(SD)
栄養改善加算	141	3.8(12.7)	151	2.2(7.4)	0	-	12	1.5(2.2)	304	2.9(10.1)
栄養マネジメント加算	171	40.1(239.9)	182	19.0(101.0)	0	-	16	37.9(56.2)	369	29.6(178.5)